

1. 建設現場における熱中症対策事例集

- 建設現場における熱中症による労働災害を防止する一助として、対策事例を集めたものであり、各地方整備局等で採用された事例を収集
- 参考になる例を記載するとともに、熱中症についての知識や認識を深められるように各種情報も利用しやすいように取りまとめた

はじめに	1
1.熱中症とは	2
(1)熱中症はどのように起こるのか	2
(2)熱中症の症状	3
(3)熱中症の発生状況	4
2.作業環境管理	5
(1)気象情報の入手	5
(2)暑さ指数（WBGT値）の計測と周知	6
(3)暑さ指数（WBGT値）の低減	7
(4)休憩場所の整備など	8
3.作業管理	10
(1)作業時間の短縮など（事例）	10
(2)水分・塩分の摂	10
(3)通気性の良い服装など	11
4.健康管理	12
(1)労働者の健康状態の確認	12
(2)作業中の巡視	13
(3)チェックシートの活用	15
5.労働衛生教育	16
6.参考資料	17

- 熱中症についての知識や認識を深めるための各種基礎情報について記載
- 気象情報や暑さ指数（WBGT）などを発信している情報サイトについて記載し、必要な情報収集を手助けする
- 各地方整備局等で採用された事例を収集し、好事例の水平展開を図る

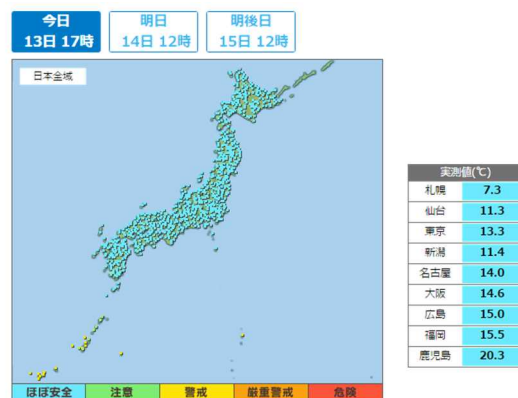


図 暑さ指数(WBGT)の実況と予測

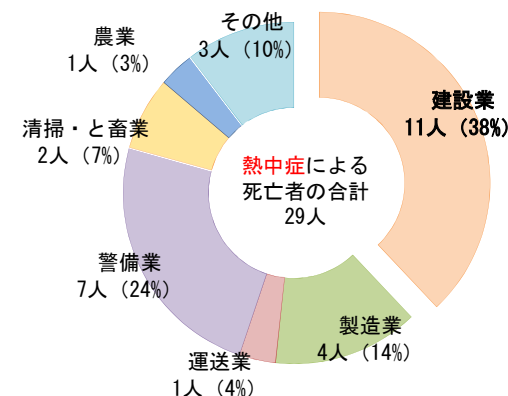


図 平成27年 業種別の熱中症死亡災害※

※厚生労働省
職場における熱中症による死傷災害の発生状況より

2. 土木工事安全施工技術指針の改定（熱中症対策関係）

- 平成21年以降、8年ぶりの改定を実施し、熱中症対策として「高温多湿な作業環境下での必要な措置」の項目を新設
- 工事施工にあたり重要と想定される項目について具体例を記載し、一層の工事中の安全確保を図る

主な事項

高温多湿な作業環境下での必要な措置

- 作業場所に応じて、熱を遮ることのできる遮蔽物等、簡易な屋根等、適度な通風または冷房を行うための設備を設け、WBGT（暑さ指数）の低減に努めるとともに、作業場所には飲料水の備え付け等を行い、また近隣に冷房を備えた休憩場所または日陰等の涼しい休憩場所を設け、身体を適度に冷やすことのできる物品及び施設を設けること
- 作業の休止および休憩時間を確保し連続する作業時間を短縮するほか、計画的に熱への順化期間を設け、作業前後の水分、塩分の摂取及び透湿性や通気性の良い服装の着用等を指導し、それらの確認等を図るとともに必要な措置を講ずるための巡視を頻繁に行うこと
- 高温多湿な作業環境下で作業する作業員等の健康状態に留意すること対策を実施すること

【参考】現場環境改善費への熱中症予防の明記（土木工事積算基準の改定※）

- イメージアップ経費については、名称と内容が結びつきづらくなっているため、今回の基準書改定で「現場環境改善費」に名称を改める
- また、最新の実績データに基づき経費率の見直すとともに、安全関係の計上項目として熱中症予防が含まれることを明記

現場環境改善費の改定

対象額:Pi		現場環境改善率 : i (%)	
		地方部	市街地
直接工事費(処分費等を除く) +支給品費+無償貸付機械等評価額	5億円以下の場合	$i = 39.9 \cdot P_i^{-0.201}$	$i = 56.6 \cdot P_i^{-0.174}$
	5億円を超える場合	0.71	1.73

改定前

イメージアップ経費

計上項目	内容
仮設設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設、4. 見学路及びびいすの設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化、2. 労働宿舍の快適化、3. デザインボックス（交通誘導警備員待機室）、4. 現場休憩所の快適化、5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）、2. 盗難防止対策（警報器等）、3. 避暑・防寒対策
地域とのコミュニケーション	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表、4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む）、5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む）、6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営、7. パンフレット・工法説明ビデオ、8. 地域対策費（地域行事等の経費を含む）、9. 社会貢献

改定後

現場環境改善費

計上項目	内容
仮設設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設、4. 見学路及びびいすの設置、5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（ <u>女子更衣室の設置含む</u> ）、2. 労働宿舍の快適化、3. デザインボックス（交通誘導警備員待機室）、4. 現場休憩所の快適化、5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）、2. 盗難防止対策（警報器等）、3. 避暑（ <u>熱中症予防</u> ）・防寒対策
地域関係	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表、4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む）、5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む）、6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営、7. パンフレット・工法説明ビデオ、8. 地域対策費（地域行事等の経費を含む）、9. 社会貢献

※平成29年3月10日 記者発表
平成29年度 国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改定